

フレッシュジュニア能美交流大会 大会要綱

後援 西田運営本部長

能美学童野球連盟

【大会運営規則】

- ①フレッシュジュニア能美交流大会は、4年生以下の選手に試合を経験してもらい、選手育成の為に開催される大会である。
- ②大会日 8月1日（土）、2日（日）
- ③大会場所 1日目：粟生多目的グラウンド 2日目：川北簡易グラウンド
- ④本大会は、特別に5、6年生女子の大会選手登録を認める。（但しピッチャー、キャッチャーを除く。）
- ⑤参加チームは、6チーム（川北、福岡、宮和、粟生、寺井、根上）とする。
- ⑥対戦方法は、3チームをA、Bグループにわけてのリーグ戦とします。（各チーム2試合実施。）
- ⑦グループ分けは連盟にて抽選を行い、下記のグループ分けとします。
Aグループ：川北、粟生、根上（①川北－粟生、②川北－根上、③粟生－根上）
Bグループ：宮和、寺井、福岡（①宮和－寺井、②宮和－福岡、③寺井－福岡）
第1試合：9：00～／第2試合：10：40～／第3試合：13：00～
- ⑧試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らない。
- ⑨塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間 21m 本投間 14m。
- ⑩低学年はボークを取らず注意とする。ボークによって攻撃側が不利な判定（アウト）を受けた場合には不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留める。又、ボークと盗塁が同時に起こった場合は、盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- ⑪本大会においては、振り逃げは適用しない。
- ⑫投手の投球回数は1日60球までとする。
- ⑬1イニングで打者が一巡した場合は攻撃を終了し、攻守交替をして次のイニングに移る。
- ⑭選手の熱中症対策として、大人の方2名ベンチ入りを認める。（私服でチーム帽子を着用の事。）
- ⑮選手のユニフォームは統一しなくても良い。（動きやすい服装で、帽子を着用の事）
- ⑯審判については自チームを担当し、主審、塁審を両チームで協議して決定する。
- ⑰参加費用は不要です。
- ⑱各チーム新球を4球準備願います。
- ⑲SBO板、ベースは各対戦チームで相談をし準備願います。
- ⑳コロナウィルス対策の周知徹底。（能美学童野球連盟ホームページを確認の事。）
- ㉑翌日の対戦方法は、勝率などを考慮した対戦3試合とする。（各チーム1試合実施）